

報道関係各位

2005 年 6 月 1 日

株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント

「イノベーションカーブアウトファンド」運用開始および当社新会長就任について
～ 電子産業、ハイテク産業へのカーブアウト案件発掘 本格スタート ～

電子産業、ハイテク産業の競争力強化を後押しする日本初のカーブアウト専用ファンドの創設に向けて、三菱商事株式会社（社長：小島順彦）と日本政策投資銀行（総裁：小村武）により設立された株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント（社長：吉澤正充）は、2005 年 4 月 15 日より同社の第 1 号ファンドとなる「イノベーションカーブアウトファンド」の運用を開始いたしました。

本ファンドは、戦略的に企業から事業等を切り出して（Carve Out）第三者の評価、投資参画により成長加速化を図る手法であるカーブアウトに着目した日本初の本格的なファンドです。大企業・中堅企業にある有望な新技術・エンジニアを切り離し、外部の経営資源を最大限活用するような「カーブアウトベンチャー」への投資、育成を通じて、世界に通用する技術を有する次世代トップ企業を輩出し、技術立国日本の復活と新産業創造への貢献を目指しております。

運用開始にあたっての第 1 回目のクロージングでは、三菱商事、日本政策投資銀行それぞれから各 40 億円をはじめ、国内機関投資家を中心に出資確約を受けました。最終的には 150 億円程度の規模を目標としており、引き続き各投資家における出資検討が進んでいます。

今後の投資方針について、電子産業、ハイテク産業における有望なカーブアウト案件を中心に、今後 5 年間で 15 件程度の案件に対して 1 件当たり 3 億円から 30 億円を目安に分散投資を行う予定です。

カーブアウトのスキームの構築、事業の育成にあたっては、電子産業分野での技術をベースとした事業化支援、コンサルティングを行う株式会社テクノロジー・アライアンス・グループと連携する等、様々な外部資源を活用して投資先の企業価値等の向上を目指します。

また、当社は、同年 5 月 10 日開催の株主総会において、日本政策投資銀行前理事 一色浩三を取締役として選任し、同日開催の取締役会にて新会長とする役員人事を決定しました。

なお、前取締役会長の小門裕幸は、同年 5 月 9 日付で退任し、当社経営評議委員に就任しております。

新取締役会長の一色浩三は、2001 年 6 月より 2005 年 5 月まで日本政策投資銀行理事をつとめ、製造業を中心とした日本の産業振興に尽力してきました。また、財団法人日本経済研究所評議員など数々の要職を歴任し、経済界を始めとして各界より厚い信頼を得ています。

新取締役会長の略歴は下記のとおりです。

取締役会長 一色 浩三（1946.1 生）
東京大学法学部卒業
69 年：日本開発銀行（現 日本政策投資銀行）入行
企業審査・貸付、地域支援業務、経済企画庁派遣、営業部副長、総務部副長、経理部次

長、秘書役等を経て、
96年6月：同行産業・技術部長
98年5月：同行人事部長
01年6月：同行理事（情報・通信産業、審査部門等担当）
05年5月：当社取締役会長（現職）

新会長が有する産業界における幅広いネットワークと、長年の投融資経験に基づく事業化ノウハウにより、当ファンドが投資対象とする「カーブアウトベンチャー」の発掘および育成を、さらに強力で推進してまいります。

参考資料

<「イノベーションカーブアウトファンド」概要>

名称：イノベーションカーブアウトファンド一号投資事業有限責任組合
ファンド総額：150億円（目標）
投資サイズ：1社あたり3～30億円
投資対象：電子産業・ハイテク産業における有望なカーブアウト案件を中心に投資
設立年月日：2005年4月15日
投資期間：5年間
ファンド期間：10年間（但し2年間延長の可能性あり）
無限責任組合員：株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント
有限責任組合員：三菱商事、日本政策投資銀行、その他機関投資家等

<カーブアウトとは>

カーブアウトとは、戦略的に企業から事業等を切り出して（Carve Out）、第三者の評価、投資参画によりその成長を加速化させることを狙った、大企業ベンチャーの一形態であり、カーブアウト元企業から一定の出資等の支援・連携を受けつつ切り出す点が特長となります。日本では多くの優秀な技術、人材が大企業等に存在していますが、カーブアウトはこの技術、人材を活用して事業化を行うのに最も適した方法と考えられます。

日本では、すでに多くのベンチャーキャピタルが設立され、ベンチャー支援がなされておりますが、世界でもトップクラスの技術を持つ会社を作り、日本を支える新産業創造を成し遂げるには、大企業・中堅企業にある有望な新技術・エンジニアを切り離し、外部の経営資源を最大限活用するような「カーブアウトベンチャー」の育成が必須と考えております。また、日本の電機、機械、IT分野では、複数の企業から事業を切り離して一緒にすると、技術的に揺るぎない地位を世界で獲得することが出来る事業が数多くあります。本ファンドでは、こうした事業の切り離しとアライアンスを積極的に仕掛けることでデファクトスタンダードとなる技術を確立し、世界のメジャープレーヤーに育て上げることで、日本の国際競争力復活を目指します。

<テクノロジー・アライアンス・インベストメント概要>

社名：株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント
（英文表記）：Technology Alliance Investment, Ltd.
所在地：東京都港区赤坂二丁目17-22 赤坂ツインタワー東館11階
設立年月日：2004年10月5日
資本金：3億円
株主：三菱商事(50%)、日本政策投資銀行(50%)
主たる事業内容：投資事業組合財産の運営
従業員数：10名
役員構成：
取締役会長 一色 浩三
代表取締役社長 吉澤 正充
取締役 小林 永芳
取締役 木嶋 豊

監査役 川島 一矩
監査役 川淵 正光
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.tai.jp/>

<三菱商事概要>

三菱商事は中期経営計画「INNOVATION2007」で、「新・産業イノベーター」というビジョンを掲げ、市場ニーズから産業を据え直して新しい仕組みを提案・創出し、次世代を担う新産業の創生を支援することで、産業界の発展に寄与し、顧客と共に成長のシナリオを構築することを目指しています。

<日本政策投資銀行概要>

政策投資銀行は、総合政策金融機関として、「地域」、「環境」とともに「技術」を重要な政策課題ととらえ、技術の事業化や今後の日本を支える新産業の創出に努めております。

<株式会社テクノロジー・アライアンス・グループ概要>

所在地：東京都港区赤坂二丁目 17-22 赤坂ツインタワー東館 17 階

設立：2003年2月17日

資本金：3億円

株主：三菱商事株式会社(100%)

代表取締役社長：小林 永芳

事業内容：電子産業における事業開発

(投資、投資顧問、コンサルティング、マーケティング支援等)

従業員数：25名

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.tech-alliancegroup.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社テクノロジー・アライアンス・インベストメント

電話番号：03-6230-3201

E-mail：info@tai.jp